

# ヒロハハナヤスリ

*Ophioglossum vulgatum* L.

## ハナヤスリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

分布域は広いが個体数が少ない。(現況:R-)

### 形態

葉は1枚で広卵形ないし楕円形。通常長さ5~10cm稀に12cmに至ることもある。孢子葉のあるものは小柄がなくて葉は心形で脚を抱く。葉脈の網目は細かくて二次脈も見える。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬、種子島まで。

### 県内分布

外浦区、内浦区、加賀中央区、南加賀区。

### 生態など

夏緑性、栄養葉は孢子葉とともに5月に現れ、孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。植物体は7月から8月の間に枯れる。繁殖は根に生ずる不定芽と孢子による。不定芽による繁殖力が旺盛なためしばしば群落を作る。

### 生育環境

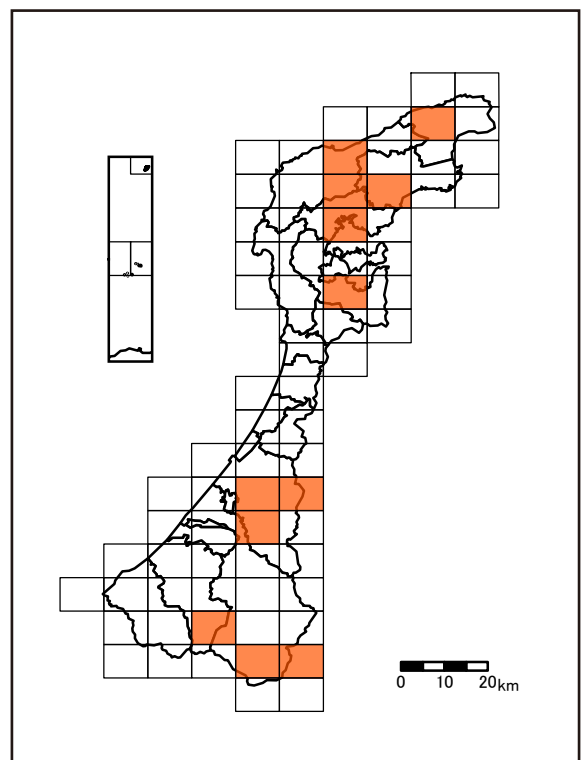
墓地、寺院や神社の境内などに生育する。

### 危険要因

森林伐採、自然遷移、管理放棄、産地局限。



林 二良・2007年5月30日・白山麓



県内の分布